

 ネコかぼちゃ 

 ネコかぼちゃ 

葉っぱがたくさん広がる畑に、
珍しいカボチャの子供がいました。



皮はつるつるぴかぴか。
色は太陽のように元気なオレンジ色。



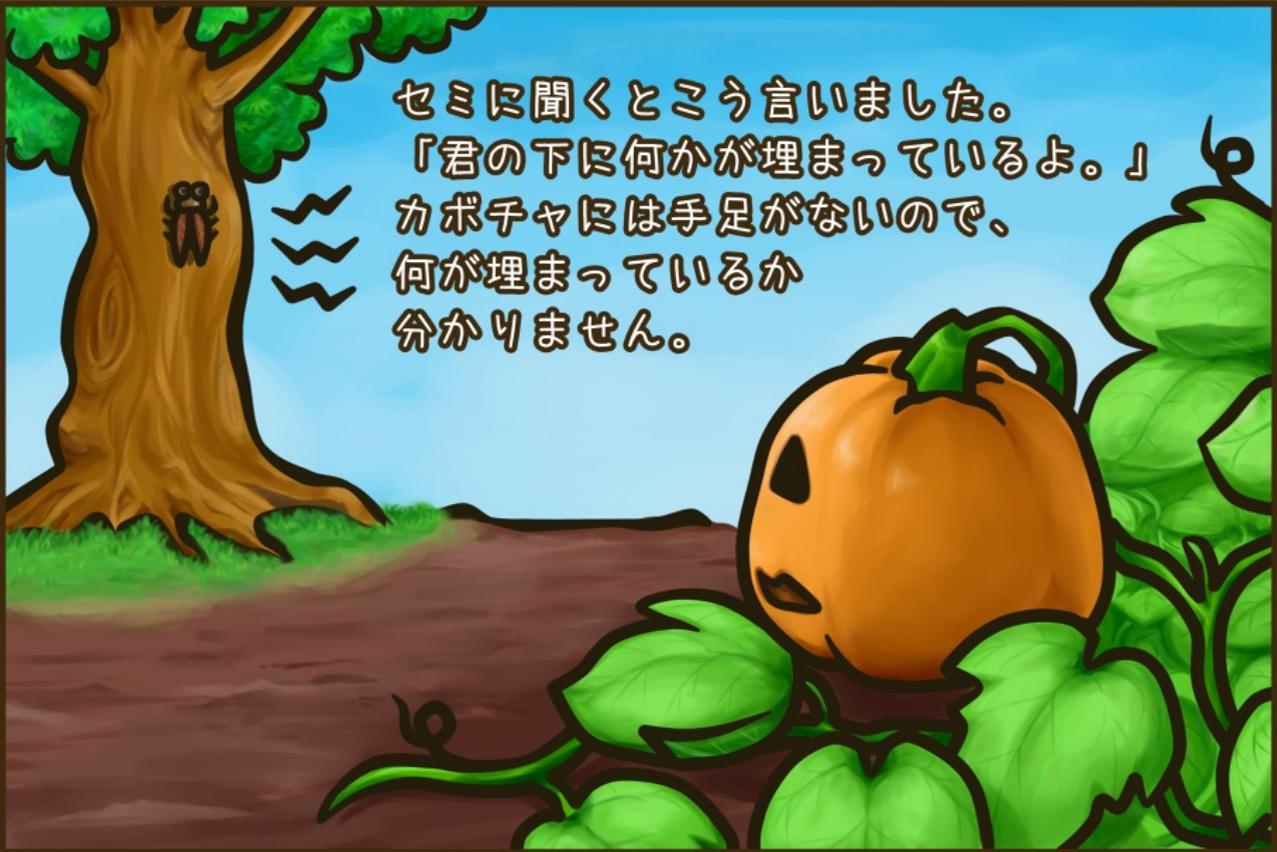
カボチャの仲間達から
いつも可愛がられていて、
畑の主人からも大切に
されていました。

ある日、1匹のアリがやってきて言いました。

「君が特別なのはいわく付きの
カボチャだからなんだよ。」

アリはそれ以上、
教えてくれません。





セミに聞くとこう言いました。
「君の下に何かが埋まっているよ。」
カボチャには手足がないので、
何が埋まっているか
分かりません。

ミミズに掘ってと頼むところ言いました。

「ぼくたちには無理さ。けど何が埋まっているか知れば、掘りたいだなんて思わなくなるよ。」

やっぱり、教えてくれません。



イモムシの長老に聞くと、覚悟を決めたようにこう言いました。
「恨みを持ったまま死んだネコが埋まっている。
お前はあの悲しいネコから生まれてきたんじやよ。」



カボチャはとても驚きました。

カボチャは毎日毎晩、悩み続けました。
しかしいくら考えても答えは出ません。

けれど、1つだけ決めたことがあります。



それは、自分の幸せな気持ちを
長く伸びたツルに毎日、送り続けることでした。





するとある日。
突然、地面がもこもこ！
盛り上がってきました。
「なんだ、なんだ？」
皆が集まって来ます。



子ネコの青い目の中に、
自分と同じハートを
見つけたからです。

「ミヤア」

地面から出てきたのは子ネコでした。
皆はびっくりして逃げ出して
しまいます。

ずっと前に埋められたネコが
お化けになったと思ったの
でしょう。



けれど、カボチャはそう思いません。

畑の主人が子ネコをきれいになると
真っ白な毛並みが太陽の光で
キラキラ輝き出しました。



子ネコは「ミャア」とまた鳴きました。

カボチャとネコはいつも一緒。
毎日仲良く、日向ぼっこして暮らしました。





Fin

